



小学校の そろばん学習

全国珠算教育団体連合会

〒110-0004

東京都台東区下谷2-17-4

(全国珠算教育連盟内)

電話 03-3875-6636

<http://syuzan-rengo.jp>

構成団体

公益社団法人 全国珠算学校連盟

公益社団法人 全国珠算教育連盟

一般社団法人 日本珠算連盟



『そろばんと算数教科書』

國學院大學教授(前・文部科学省視学官) 吉川 成夫

いま手許にある小学校の算数教科書(3年下巻, 啓林館発行)を開けてみると「そろばん」は第19単元で、5ページ分が取り上げられています。最初のページでは、そろばんでの数の読み方や表し方の学習があります。写真を使いながら、そろばんについての用語(1だま, 5だま, 定位点, わく, けた, はり)がのっています。整数のよみ方や表し方(おき方, はらい方)も説明してあります。次のページから、たし算, ひき算の学習が順をおって進められていきます。簡単な「 $63 + 25$ 」「 $48 - 36$ 」から始まり、繰り上がりのある「 $9 + 3$ 」, 繰り下がりのある「 $11 - 3$ 」の学習があります。最後に、大きな数の「 $8万 + 9万$ 」, 小数の「 $0.3 + 0.8$ 」の学習もあります。

最近の算数教科書では、そろばんの指導の取り扱いが丁寧になってきています。現在のそろばんの指導は、小学校3年と4年で行うようになっていきます。また、文部科学省から発行されている『小学校学習指導要領解説 算数編』(平成20年)の中には、3年と4年でのそろばんの学習指導の進め方が従来よりも詳しく書かれています。教科書の編集者も、学習指導要領やその解説をよく読んで、教科書の展開を研究しているはずで

小学校の算数の授業時数は年間175時間(1年生のみ136時間)を標準とするとされています。実際には、それよりも1割ほど多い時数で指導されている実態があり

ます。よく聞かれるのは、「そろばんなどそれぞれの指導内容を年間で何時間、指導するのですか」という質問です。これには決まりはありません。今までの指導の経験や教師の考え方によって決まってくる。授業時数の配当など、年間の指導計画は各学校で作成するものです。

算数教科書の1年分のページ数は、二百数十ページあります。読み物コラムや復習のページも多くあるので、それらを除くと、教科書の本文1ページをおよそ1時間(授業は45分)かけて指導すると考えてよいでしょう。始めに紹介した啓林館の3年算数教科書では、およそ5時間をそろばんの指導にあてていることになります。教科書によっても、内容の取り扱いの仕方や、指導時数の考え方にはちがいがあ

ります。小学校でのそろばん教育は、ごく基本的な知識と技能を身につけることと、そろばんに関心を持ち、使ってみたいという気持ちを高めるようにするのが目標です。学校でのスポーツや芸術の教育と同じように、名選手や専門家を育てるのがねらいではありません。

現在の学習指導要領は、平成20年に文部科学大臣によって告示され、23年度から実施されたものです。それにあわせて教科書も新しく作成されました。次の新しい学習指導要領は29年に告示、32年度から実施される予定です。

主体的・対話的で深い学びの「そろばん授業」

算数科におけるそろばん学習のさらなるよさを実現するために、主体的かつ対話的そして深い学びの中から質の高い学習の実現を目指した。以下は東京都中央区立久松小学校の協力を得て、第3学年の児童に実施した授業の報告である。

- ・授 業 日 平成29年2月2日
- ・授 業 者 小原光治・中島えいこ 全国珠算教育団体連合会 専門委員会委員
- ・実 施 校 久松小学校3年1組～3組
- ・単 元 名 「そろばん」
- ・使用教材 「たのしいそろばん」(全国珠算教育団体連合会発行・副教材)
- ・本時の目標 そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて加法及び減法の計算ができるようにする。
- ・授業の項目 そろばんの授業としては、3時間目であったため前時の復習から入った。本時は10の分解を中心とした。10-9の計算についてグループ内で考えさせ、発表をさせた。その他そろばんの発展的な活用例として「おつりの計算」は、パワーポイントを使用して視覚的な面からの理解をはかった。
- ・児童の実態 アクティブラーニングによる初めてのそろばんの授業を実現することができた。児童を4～5名ずつのグループに分け、児童の主体性を生かしてグループごとの討論そして発表へと展開をした。

従来のそろばん授業は、技術指導に終始するため「教え込む」という部分が多くあったが、ここでは子どもたちの主体性を主にした授業が展開された。また、授業担当者が各グループに投げかけた質問も、時間一杯までの話し合いが行われ、発表する児童が固定されることなく、友だちの前でいきいきと考え方や思ったことを発表していた。

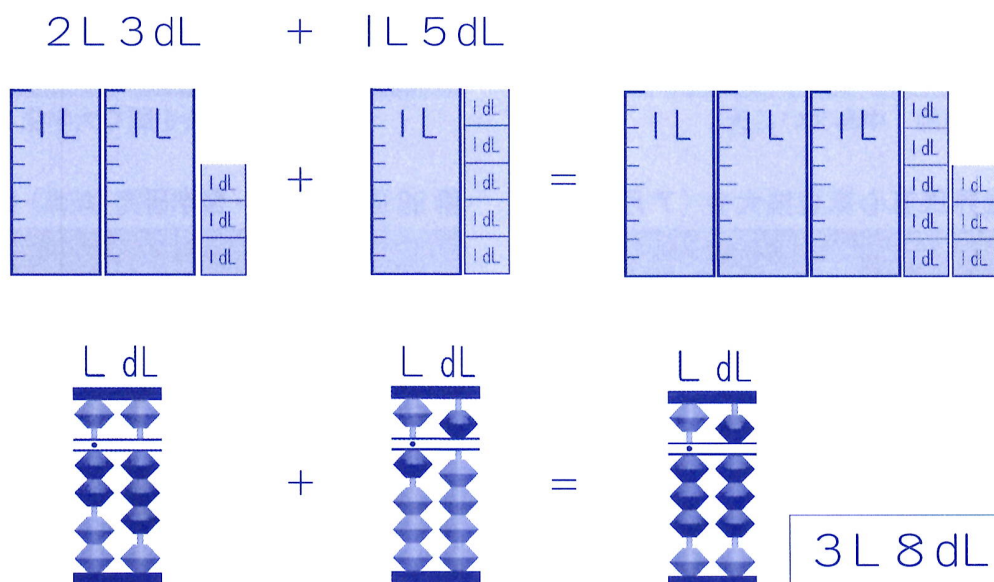
たとえば、「10-9」の答えを導き出す方法が理解できると「10-8」も、「10-7」も同じ方法で答えを出すことができることに気づき、ひとつの理解から「同じようにできる」という声が多くの子どもたちから挙がった。こうして「考えること」「話し合うこと」を通して、児童の主体性を尊重しながら知識を会得していったことも有意義なことであった。



そろばんを活用した「かさ」の学習

年 組 なまえ ()

★ そろばんを つかって 考えましょう。



1 L を 10 こに分けたひとつ分が 1 dL なので、L の右のくらいが 1 dL です。

★ そろばんを つかって 計算 しましょう。

① $2 \text{ L } 7 \text{ dL} + 1 \text{ L } 2 \text{ dL} = \boxed{} \text{ L } \boxed{} \text{ dL} = \boxed{} \text{ dL}$

② $9 \text{ L } 9 \text{ dL} - 3 \text{ L } 8 \text{ dL} = \boxed{} \text{ L } \boxed{} \text{ dL} = \boxed{} \text{ dL}$

③ $6 \text{ L } 8 \text{ dL} - 1 \text{ L } 5 \text{ dL} = \boxed{} \text{ L } \boxed{} \text{ dL} = \boxed{} \text{ dL}$

SOROBAN SNAP 2016

武蔵野大学教育学部にて珠算講座（7月）

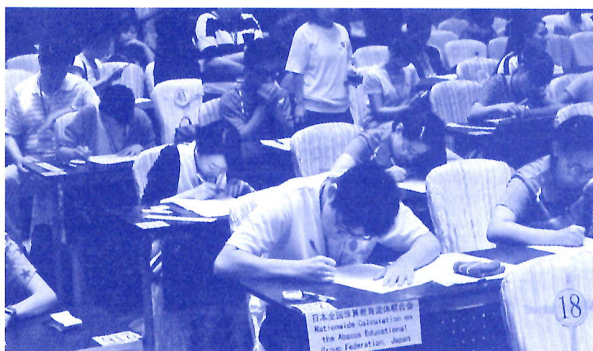


講師 中島えいこ氏



熱心に講義を聞く大学生

第6回世界珠算心算競技大会（7月）



中国・香港にて

第98回全国算数・数学研究（岐阜）大会（8月）



発表者 小原光治氏 他

「マイそろばんを作ろう」の学習をして（児童の作文）

マイそろばんを作るのは初めてで、作ることがいつもワクワクしていました。色をぬるところがすこしいへんでした。

わたしが、くふうしたことは色のぬりかたです。色のぬりかたは、一玉、五玉、十玉の色をかえたところです。あとじゅんばんもくふうしました。一番上が五玉、まん中が一玉、一番下が十玉にしました。

わたしが作ったそろばんは、たくさんの玉があります。早くお家にもって帰って、家でたくさんやってみたいです。次に作る時は、色のぬりかたをかえてみたいし、こん度は、たて長で作るのじゃなくて、よこ長の百玉そろばんみたいなそろばんを作ってみたいです。



3年女児

全国珠算教育団体連合会のホームページ

<http://syuzan-rengo.jp>



スマホは
こちらから
どうぞ

